

1. 平成21年度 事業活動報告

(1)21年度事業の概要

21年度、当NPO法人は、東海村支部を中心に「安全及び環境の保全に係わる施設・活動の市民による視察および改善提言の事業」として、JCO事故から10年の節目に行われた国の原子力総合防災訓練において住民へのアンケート調査を実施するとともに、その内容をまとめ、「リスクコミュニケーション活動に係わる広報啓発事業」として広報誌を発行し、村内の一般住宅全戸への配布を行った。また、東海村支部は防災ワーキングを設置し、“わかりやすい原子力防災マニュアル”を検討するとともに、21年11月1日には村松北区自治会の一般防災訓練において、原子力防災の基礎を解説した。

「科学技術リスクに係わるリテラシー養成事業」では、東海村より受託した原子力講座開催業務により、21年10月より「環境とエネルギー問題の基礎」2回、原子力安全問題として「国の役割、事業者の役割」「原子力防災」、原子力政策問題として「原子力のいま」と「これからの原子力開発」について、計6回の市民向け講座を実施した。

「行政・企業・市民間のリスクコミュニケーション活動の支援事業」では、農林水産省や原子力安全・保安院、日本原子力研究開発機構のリスクコミュニケーション研修を行うとともに、東海村より受託した住民原子力懇談会開催業務により、宿区および真崎区住民と、村、日本原子力研究開発機構、原子力安全・保安院東海・大洗原子力保安検査官事務所との懇談会の実施支援を行った。

さらに、JCO10年の節目に東海村と日本原子力文化振興財団が企画した「作文募集」と「シンポジウム開催」事業に、代表理事谷口武俊が企画委員として、副代表理事土屋智子が編集ワーキング委員として参加し、11月7日の原子力安全シンポジウムの実施や臨界事故に関する作文編集に協力した。

この他、会員への情報提供として、事務局通信を作成し、送信した。

1. 事業の詳細

(1)行政・企業・市民間のリスクコミュニケーション活動の支援事業

- 農林水産省農林水産研修所が主催する平成20年度農政課題地方公共団体職員研修（平成21年9月11日実施）において、副代表理事土屋智子が講師としてリスクコミュニケーションの講義と演習を行った。
- 経済産業省原子力安全・保安院の依頼により、副代表理事土屋智子が、平成21年度原子力リスクコミュニケーション研修講師として、2日間の研修を実施した（平成21年11月19～20日）。また、同院の依頼により、新任所長研修の一環としてリスクコミュニケーションの講義と演習を行った（平成22年2月3日）。
- 独立行政法人日本原子力研究開発機構の依頼により、機構が計画したリスクコミュニケーション研修において、副代表理事土屋智子が、東海村支部の活動を中心に実践事例を紹介した（平成22年2月17日）。
- 東海村より受託した住民原子力懇談会について、宿区および真崎区地区役員を対象に、住民、

村、日本原子力研究開発機構、東海・大洗原子力保安検査官事務所との懇談会をそれぞれ行い、実施概要をまとめた資料を作成するとともに、年度末には村へ実施報告を行った。

第1回懇談会：平成21年10月26日実施（宿区）

第2回懇談会：平成22年2月25日実施（真崎区）

●日本立地センターによる草の根NPO等の交流会に、佐藤副代表理事、清水理事が参加し、他地域の活動情報を入手した（平成22年3月2日）。

（2）科学技術リスクに係わるリテラシー養成事業

東海村より受託した原子力講座開催業務を以下のとおり企画・運営し、実施報告を行った。

	テーマ	タイトル	講師名	実施日	参加者数
第1回	環境とエネルギー問題の基礎	その1	中岡 章	21年10月3日	27名
第2回	原子力安全 1	国の役割・事業者の役割	班目春樹	21年10月24日	24名
第3回	原子力安全 2	原子力防災	占部逸正	21年10月30日	27名
第4回	原子力政策 1	原子力のいま	長野浩司	21年11月14日	20名
第5回	原子力政策 2	これからの原子力	井上 正	21年12月12日	30名
第6回	環境とエネルギー問題の基礎	その2	中岡 章	22年1月23日	25名

（3）安全及び環境の保全に係わる施設・活動の市民による視察および改善提言の事業

平成21年はJCO事故から10年の節目の年であり、国の原子力総合防災訓練の実施が予定されていたことから、東海村支部では原子力防災体制について学ぶとともに、防災ワーキングを設置して住民の視点での原子力防災の在り方を提言する活動を行った。

①茨城オフサイトセンター見学の実施

現在の原子力防災体制を学ぶため、茨城オフサイトセンターの見学及び東海・大洗原子力保安検査官事務所との対話活動を平成21年8月5日に行った。見学及び対話活動の結果は「しーきゅうぶ東海村」第9号で広く住民へ情報提供した。

②防災ワーキングの活動

東海村支部では、2009年4月に防災ワーキングを設置し、住民にとって必要な原子力防災マニュアルの検討を行った。村松北区自治会からの依頼により、11月1日村松幼稚園で行われた一般防災訓練時に、防災ワーキングが作成したマニュアルを説明し、好評を得た。さらに、12月21～22日に行われた国の原子力総合防災訓練に際して、参加者へのアンケートを実施した。

2009年4月8日（水）視察グループ会合で防災ワーキングの設置を議論

4月15日（水）定例会で防災ワーキングの設置を決定、メンバーと活動目的等を決める

4月28日（火）第1回防災ワーキング

5月27日（水）第2回防災ワーキング ※以上20年度事業

6月15日（月）第3回防災ワーキング

- 7月8日（火）第4回防災ワーキング
 - 7月27日（月）第5回防災ワーキング（村松北区からの要望が伝えられる）
 - 8月18日（火）第6回防災ワーキング
 - 8月25日（火）第7回防災ワーキング（原子力対策課から説明を受ける）
 - 9月9日（水）第8回防災ワーキング
 - 9月29日（火）第9回防災ワーキング
 - 10月23日（金）第10回防災ワーキング（11月1日のリハーサルを実施）
 - 11月1日（日）村松北区防災訓練に参加、「原子力防災の基礎」を説明
 - 12月4日（金）第11回防災ワーキング（アンケート案を議論）
 - 12月16日（水）村の協力を得て、訓練参加者への説明会でアンケートを配布、協力依頼
 - 12月22日（火）国の原子力総合防災訓練での住民避難の様子を観察
- 2010年1月 村の協力を得て、アンケート回答を回収
- 2月18日（木）定例会でアンケート結果を検討
 - 2月23日（火）第11回防災ワーキング（アンケート結果のまとめ方を議論）
 - 3月9日（火）第12回防災ワーキング（報告概要案を議論）
 - 3月17日（水）自治会連合会定例会で報告
 - 4月14日（水）定例会で広報誌案を提示
 - 4月28日（水）第13回防災ワーキング（広報誌案を確定）
 - 5月13日（木）民生委員・児童委員の定例会で報告
 - 5月25日（火）アンケート結果と提言をまとめた「しーきゅうぶ東海村」第10号を発行

③原子力防災に関する提言活動の実施

平成21年12月21～22日にかけて行われた国の原子力総合防災訓練に際し、参加者及びその家族・友人等を対象に原子力防災アンケートを実施するとともに、訓練当日にはメンバーが訓練地域に赴き、自動車避難の状況や避難所運営等の観察を行った。アンケートの集計結果と観察による気づき事項をまとめ、村に「村民主体の訓練実施」に向けた提言を行うとともに、その内容を「しーきゅうぶ東海村」第10号の村内全戸配布により広く情報提供を行った。アンケート結果は、村を通じて茨城県および国の評価委員会に伝えられた。また、アンケート実施に協力いただいた自治会連合会、民生委員・児童委員会にも、結果概要の報告を行った。

(4)リスクコミュニケーション活動に係わる広報啓発事業

①広報誌の発行

会員の提案により特別号3より、自治会長あて3部を郵送することとし、さらに、10号は東海村シルバー人材センターに委託して、村内一般世帯全戸への配布を行った。

<広報誌発行状況>

しーきゅうぶ東海村 第9号 平成21年9月発行 茨城オフサイトセンター見学報告

しーきゅうぶ東海村 第10号 平成22年5月発行 原子力防災アンケート結果報告

2. 組織強化のための取り組み

NPO法人としての組織強化のため、会員への情報提供として事務局通信を出すとともに、運営上の問題で更新が止まっていたホームページ作成体制を見直し、情報内容も更新した。

<「HSEリスクC3事務局通信」の発信状況>

21年 8月31日 第21号 総会報告など

<新ホームページの運用開始>

独自ドメインを取得し、土屋副代表理事が運営を担当することにした。更新されたホームページは6月1日より公開している。

<理事会>

第6回 21年6月13日 東海村合同庁舎 会議室

平成20年度事業報告、決算報告、平成21年度事業計画、予算案について説明し、今後の活動計画について議論した。理事会終了後、ひきつづき通常総会を実施した。

□平成22年5月31日現在の会員数

正会員 22名

活動会員 4名

個人賛助会員 4名

法人賛助会員 1社

(名誉会員 1名)

NPO法人HSEリスク・シーキューブ 平成21年度 活動記録

	行政・企業・市民間のリスクコミュニケーション活動の支援事業	安全及び環境の保全に係わる施設・活動の視察および改善提言の事業	科学技術リスクに係わるリテラシー養成事業	リスクコミュニケーション活動に係わる広報啓発事業	総会および東海村支部定例会
6月	23日 東海村 JCO10年プロジェクト企画委員会(第1回)	15日 第3回防災ワーキング			13日 通常総会 17日 定例会
7月	東海村より住民原子力懇談会開催業務を受託	8日 第4回防災ワーキング 27日 第5回防災ワーキング	東海村より原子力講座開催業務を受託		8日 定例会
8月	18日 東海村 JCO10年プロジェクト企画委員会(第2回)	5日 茨城県オフサイトセンター見学 18日 第6回防災ワーキング 25日 第7回防災ワーキング			5日 定例会
9月	11日 農林水産研修所研修を実施 29日 JCO10年プロジェクト編集ワーキング(第1回)	9日 第8回防災ワーキング 29日 第9回防災ワーキング		しーきゅうぶ東海村第9号発行	9日 定例会
10月	26日 第1回住民原子力懇談会を実施	23日 第10回防災ワーキング	3日 第1回講座 24日 第2回講座 30日 第3回講座		7日 定例会
11月	7日 東海村原子力安全シンポジウムに共催 19~20日 原子力安全・保安院研修を実施	1日 村松北区防災訓練で説明	14日 第4回講座		11日 定例会
12月	4日 JCO10年プロジェクト編集ワーキング(第2回)	4日 第11回防災ワーキング 16日 訓練参加者へアンケートを依頼 22日 原子力総合防災訓練観察	12日 第5回講座		10日 定例会
1月	20日 JCO10年プロジェクト編集ワーキング(第3回)	アンケート回収	23日 第6回講座		21日 定例会
2月	3日 原子力安全保安検査官事務所長研修を実施 17日 日本原子力研究開発機構の研修で講師を行う 25日 第2回住民原子力懇談会を実施	23日 第12回防災ワーキング			18日 定例会
3月	2日 草の根NPO交流会へ参加 受託事業報告書を村へ提出	9日 第13回防災ワーキング 17日 自治会連合会へ報告	受託事業報告書を村へ提出		11日 定例会
4月		28日 第14回防災ワーキング			14日 定例会
5月		13日 民生委員・児童委員会へ報告		しーきゅうぶ東海村第10号発行	12日 定例会